

2017.7.16

### 経験から学んだこと 第3回

#### 転倒骨折ではなく“骨折転倒”！？

職業柄「転倒だけはしないように気をつけてください。」と常日頃お話をしています。実際転倒による骨折で入院し、それが切掛けで体力が低下し、寝たきり状態になるという方を多く見てきました。

骨粗鬆症で骨が脆くなり、ちょっとした転倒でも骨折してしまうことが多いようです。

ところが、最近骨折して入院された方に色々お話をお伺いすると、どうもこの骨折は転倒によるものではないことがわかりました。

医師から話を聞いたわけではないので、正確ではないかもしれませんが、とにかく転倒して骨折したとはとても思えないのです。その時の状況は、室内で洗濯物を干していて骨折した、というのです。転んで・・・ではないのです。いきなり右足がガクンと沈んでその弾みで転んでしまったそうです。ちょうど「達磨落とし」のように右足が一瞬のうちに縮んでしまったそうです。

そうすると、転倒骨折ではないですね。骨折転倒です。どうやら右膝の上の骨が脆くなって、砕けた弾みで身体のバランスを崩し転んだようです。

転倒が骨折の原因になることは明らかですが、骨が脆くなることで骨折をし、その後、転倒することが有ることを知りました。

とにもかくにも骨粗鬆症の予防は大切なことですね。 (Y.O生)